



堀 和生教授近影

堀 和生 教授 略歴

1951（昭和26）年9月26日 大分県速見郡日出町に生まれる。

学 歴

1970年3月 大分舞鶴高等学校卒業
 1970年4月 龍谷大学文学部史学科東洋史学専攻入学（1975年3月卒業）
 1975年4月 京都大学文学部聴講生（1977年3月終了）
 1977年4月 京都大学大学院文学研究科修士課程国史学専攻入学（1979年3月修了）
 1979年4月 京都大学大学院文学研究科博士後期課程国史学専攻進学（1982年3月研究指導認定退学）
 1994年7月 京都大学博士（経済学）

職 歴

1989年6月 京都大学（経済学部）助教授
 1994年4月 京都大学（経済学部）教授
 1997年4月 京都大学大学院経済学研究科・経済学部教授
 現在に至る

研 究 歴

1982年4月1日 京都大学研修員として文学部国史学教室において朝尾直弘教授指導のもとで日本植
 民地経済史の研究に従事（1985年3月31日まで）
 1985年4月1日 日本学術振興会奨励研究員として京都大学文学部朝尾直弘教授指導のもとで日本植
 民地経済史の研究に従事（1986年3月31日まで）
 1986年4月1日 京都大学研修員として文学部国史学教室において朝尾直弘教授指導のもとで日本植
 民地経済史の研究に従事（1989年3月31日まで）
 1989年4月1日 大韓民国ソウル大学校経済研究所において特別研究員として植民地期朝鮮経済の研
 究に従事（1990年3月29日まで）
 1993年7月16日 大韓民国ソウル大学校世界経済研究所において特別研究員として解放直後期韓国経
 済の研究に従事（1993年9月30日まで）
 2000年7月10日 台湾中央研究院近代史研究所において訪問学者として光復前後の台湾経済の研究に
 従事（2001年3月28日まで）

堀 和生 教授 著作目録

著 書

- | | | |
|----------------------------------|---------|--------------|
| 『朝鮮工業化の史的分析——日本資本主義と植
民地経済——』 | 有斐閣 | 1995年
7月 |
| 『한국근대의 공업화——일본 자본주의와의
관계』 | 진통과현대 | 2003年
10月 |
| 『東アジア資本主義史論——形成・構造・展開
——』第1巻 | ミネルヴァ書房 | 2009年
9月 |

編 著 書

- | | | |
|------------------------------------|------------|-------------|
| 共編『近代朝鮮の歴史像』 | 日本評論社 | 1988年
8月 |
| 共編『東アジア経済の軌跡』 | 青木書店 | 2001年
9月 |
| 共編『日本資本主義と朝鮮・台湾——帝国主
義下の経済変動——』 | 京都大学学術出版会 | 2004年
4月 |
| 共編『일본 자본주의와 한국・대만』 | 진통과현대 | 2006年 |
| 編著『東アジア資本主義史論——構造と特質
——』第2巻 | ミネルヴァ書房 | 2008年
4月 |
| 共編『日本資本主義與臺灣・朝鮮 帝國主義
下の経済変動』 | 博揚文化事業有限公司 | 2010年 |
| 編著『東アジア高度成長の歴史的起源』 | 京都大学学術出版会 | 2016年 |

編 集 書

- | | | |
|---------------------|--|-------------|
| 『京都大学東アジア関連文献目録』上下巻 | | 2006年
3月 |
|---------------------|--|-------------|

編集解説資料集

- | | | |
|-------------------|------|----------------------|
| 『旧外地「工場名簿」集成』全21巻 | 不二出版 | 2010年11月
～2013年2月 |
|-------------------|------|----------------------|

論 文

- | | | |
|--|--|--------------|
| 「日本帝国主義の朝鮮における農業政策
——1920年代植民地地主制の形成——」
『日本史研究』第171号 | | 1976年
11月 |
| 「日本帝国主義の朝鮮植民地化過程における財
政変革」『日本史研究』第217号 | | 1980年
9月 |

- 「朝鮮における植民地財政の展開
——1910～1930年代初頭にかけて——」
飯沼二郎・姜在彦編『植民地期朝鮮の社会
と抵抗』 未来社 1982年
1月
- 「植民地産業金融と経済構造 ——朝鮮殖産銀
行の分析を通じて——」『朝鮮史研究会論
文集』第20集 1983年
3月
- 「朝鮮における普通銀行の成立と展開」
『社会経済史学』第49巻第1号 1983年
5月
- 「日帝下朝鮮에 있어서 植民地農業政策 ——
1920년대 식민지 지주제의 형성——」
사계절집編集部編『韓國近代經濟史研究——李
朝末期에서解放까지——』 4사계절출판사 1983年
6月
- 「植民地朝鮮の電力業と統制政策 ——1930
年代以降を中心に——」『日本史研究』第
265号 1984年
9月
- 「日本帝国主義の植民地支配史試論 ——朝鮮
における本源的蓄積の一側面——」『日本
史研究』第281号 1986年
1月
- 「일본제국주의 조선에서의 농업정책——1920
년대 식민지 지주제의 형성——」
金泳鎬編『日帝下韓國社會構成體論序說』 4청아출판사 1986年
6月
- 「『満州国』における電力業と統制政策」『歴
史学研究』第564号 1987年
2月
- 「1905年日本の竹島領土編入」『朝鮮史研究
会論文集』第24集 1987年
3月
- 「朝鮮民族資本論——植民地期京城工業の分
析——」中村哲・安秉直・金泳鎬・堀和生
編『朝鮮近代の歴史像』 日本評論社 1988年
8月
- 「1930年代朝鮮工業化의 再生産条件 ——商品
市場分析을 중심으로——」
中村哲・梶村秀樹・安秉直・李大根編『近代
朝鮮의 經濟構造』 比峰出版社 1989年
11月
- 「戦時体制期の化学工業——日窒コンツェルン
を中心に——」下谷政弘編『戦時経済と日
本企業』 昭和堂 1990年
5月
- 「1930年代朝鮮工業化の再生産条件——商品市
場分析を中心に——」中村哲・梶村秀樹・
安秉直・李大根編『朝鮮近代の經濟構造』 日本評論社 1990年
5月
- 「植民地戦争経済の特質——1937～45の朝鮮
——」下谷政弘・長島修編『戦時日本経済
の研究』 晃洋書房 1992年
7月
- 安秉直と共著「植民地朝鮮工業化의 歴史的條
件과 그性格」
中村哲・安秉直編『近代朝鮮工業化의 研究』 一潮閣 1993年
9月
- 「1930年代社会的分業의 再編成 ——京畿道・
京城府의 分析을 통해어——」
中村哲・安秉直編『近代朝鮮工業化의 研究』 一潮閣 1993年
9月

- 安秉直と共著「植民地朝鮮工業化の歴史的諸条件とその性格」 中村哲・安秉直編『近代朝鮮工業化の研究』 日本評論社 1993年11月
- 「1930年代朝鮮における社会的分業の再編成——京畿道・京城府の分析を通じて——」 中村哲・安秉直編『近代朝鮮工業化の研究』 日本評論社 1993年11月
- 「両大戦間期の東アジア地域社会」 溝口雄三ほか編『長期社会変動』 東京大学出版会 1994年10月
- 「植民地の独立と工業の再編成——台湾と韓国の事例——」 中村哲編『東アジア資本主義の形成』 青木書店 1994年10月
- 'East Asia between the Two World Wars——Industrialization of Japan and its Ex-Colonies——' *THE KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC REVIEW*, Vol. LXIV, No. 2 Whole No. 137 1994 OCTOBER
- 「植民地期京城府の都市構造——産業分布の分析——」『経済論叢』第154巻第6号 1994年12月
- 「東アジア NICs 成立の諸条件——1950年代の韓国・台湾・香港——」 中村哲編『東アジア資本主義の構造』 京都大学経済学会 1994年12月
- 「朝鮮殖産銀行の成立」 朝尾直弘教授退官記念会編『日本社会の史的構造 近世・近代』 思文閣出版 1995年4月
- 「韓国工業に関する歴史的研究」 大蔵省財政金融研究所編『アジア経済研究会中間報告』 1996年7月
- 'Japan's Incorporation of Takeshima into Its Territory in 1905'. *KOREA OBSERVER*. The Institute of Korean Studies ed.Vol.28 No.3. 1997
- 「日本植民地工業化の歴史的な性格——『アジア間貿易論の批判的検討』——」 京都大学経済学会編『日本・韓国経済の比較研究』 1997年12月
- 「日本帝國的拡大及其遺産——1930年代と1950年代的比較——」 台湾中央研究院東北亞區域研究『日本と東亞經濟關係の歴史性回顧學術討論會』 1999年5月
- 'The Industrialization of Korea in the Colonial Period' Chang Yun-Shik, Donald L. Baker, Hur Nam-lin, and Ross King eds., *Korea Between Tradition and Modernity, Selected Papers from the Fourth Pacific and Asian Conference on Korean Studies*. Institute for Asian Research, University of British Columbia. 2000
- 「NICs 貿易成立過程の研究——韓国と台湾の比較から——」『第4回ソウル大—京都大国際学術シンポジウム』 2000年12月
- 「植民地帝国日本の経済構造——1930年代を中心に——」『日本史研究』第462号 2001年2月
- 「1945年以後之台湾工業化——以近代東亞国際關係為背景——」 財団法人交流協会日台交流センター『歴史研究者交流事業報告書』 2001年3月

- | | | |
|--|-----------------|--------------|
| 「日本帝国の膨張と植民地工業化——東アジアの国際関係——」 秋田茂・籠谷直人編『1930年代のアジア国際秩序』 | 溪水社 | 2001年
4月 |
| 「朝鮮・韓国と台湾の工業化——経済の高度化と国民経済——」 植村泰夫・櫻谷勝美・堀和生編『東アジア経済の軌跡』 | 青木書店 | 2001年
9月 |
| 「東亞の兩種資本主義」 中央研究院近代史研究所『兩次世界大戰期間的中國經濟學術檢討會論文集』 | | 2001年
11月 |
| 「日本帝国と植民地関係の歴史的意義——大戦間期の分析を通じて——」 堀和生・中村哲編『日本資本主義と朝鮮・台湾』 | 京都大学学術出版会 | 2004年
2月 |
| 「1930年代的日中經濟關係——以貿易為觀測角度——」 中央研究院近代史研究所『蔣中正與近代中日關係』 | | 2004年
11月 |
| 「戦間期東アジアにおける工業的分業——生産財貿易の分析を通じて——」 中村哲編『東アジア近代經濟の形成と發展』 | 日本評論社 | 2005年
3月 |
| 「两次世界大战之间东亚的工业性分类」 中村哲編『东亚近代经济的形成与发展』 | 人民出版社 | 2005年
3月 |
| 「양차대전사이 동아사아에서의 공업적 분업」 中村哲・박섭編『동아사아 근대경제의 형성과 발전』 | 新書苑 | 2005年
3月 |
| 木越義則と共著「近代朝鮮貿易の基礎的研究」 京都大学經濟学会『調査と研究』第30号 | | 2005年
4月 |
| 「1930年代日本中国の經濟關係——貿易關係の視角から——」 黄自進編『蔣中正與近代中日關係』 | 中央研究院近代史研究所 | 2005年
6月 |
| 「日本資本主義と植民地經濟——貿易面から見た特質——」 日韓歴史共同研究報告書編『日韓歴史共同研究報告書』第3分科篇下卷 | | 2005年
6月 |
| 「1945年臺灣社會的連續與斷絕——從國際貿易的視點來看——」 臺灣研究學會籌備會『東亞歷史轉型期中的臺灣』 | | 2005年
10月 |
| 「兩次世界大戰期間東亞的工業性分工：對機械貿易的分析」 中村哲主編『東亞近代經濟的形成與發展』 | 中央研究院亞太區域研究專題中心 | 2005年
11月 |
| 「1930年代日本中国の經濟關係——華北市場をめぐる抗争——」 中村哲編『1930年代の東アジア經濟——東アジア資本主義形成史II』 | 日本評論社 | 2006年
2月 |
| 「조선의 무역통계」 김낙년편『한국의 경제성장 1910-1945』 | 서울대학교출판부 | 2006年
3月 |
| 「1930年代日本中国の關係——貿易關係の視點から——」 黄自進編『蔣中正與近代中日關係』第2卷 | 稻郷出版社 | 2006年
6月 |
| 「两次世界大战之间日本帝国主义经济的变迁——在世界市场的位置」 中村哲主編 王玉茹監译『东亚近代经济的历史结构——东亚近代经济形成史（二）』 | 人民出版社 | 2007年
2月 |

- 「양차대전사이 일본제국의 경제적 변용——세계시장에서의 위치」 나카무라 사토루, 『근대 동아시아 경제의 역사적 구조——동아시아 자본주의 형성사 2』 일조각 2007年 3月
- 「兩大戰間期日本帝国の経済的変容——世界市場における位置——」 中村哲編 『近代東アジア経済の史的構造——東アジア資本主義形成史Ⅲ』 日本評論社 2007年 3月
- 「上海経済の発展と日本帝国——貿易構造の分析——」 京都大学経済学研究科上海センター 『東アジア経済研究』 創刊号 2007年 3月
- 「近代満洲経済と日本帝国——貿易構造の分析——」 京都大学経済学会 『経済論叢』 第180巻第5号 2007年 7月
- 「兩次世界大戦之間日本帝國的經濟轉變——在世界市場中的位置」 中村哲主編 『近代東亞經濟的歷史結構』 中央研究院亞太區域研究專題中心 2007年 12月
- 「朝鮮の貿易統計」 金洛年編 文浩一・金承美訳 『植民地期朝鮮の国民經濟計算 1910-1945』 東京大学出版会 2008年 3月
- 「東アジア資本主義論の射程——貿易構造の分析——」 堀和生編 『東アジア資本主義史論』 第2巻 ミネルヴァ書房 2008年 4月
- 'Japan's Incorporation of Takeshima into Its Territory in 1905'. In *The Historical Perceptions of Korea and Japan*. Hyun Dae-song ed. Nanam 2008
- 木越義則と共著 「開港期朝鮮貿易統計の基礎的研究」 京都大学上海センター 『東アジア経済研究』 第3号 2009年 3月
- 「日本帝國主義與殖民地關係之歷史的意義——從兩大戰期間之貿易分析來看——」 堀和生・中村哲編 『日本資本主義與臺灣・朝鮮帝國主義下的經濟變動』 博揚文化事業有限公司 2010年 1月
- 「東アジアにおける資本主義の形成——日本帝国の歴史的性格——」 『社会経済史学』 第76巻第3号 2010年 11月
- 'Colonial Economy under Japanese Imperialism: Comparison with the Case of India' *International Journal of South Asian Studies*, Volume 4, MANOHAR 2011
- 「조선의무역통계」 김낙년편 『한국의 장기통계 국민계전 1910-2010』 서울대학교출판부 2012年 8月
- 「韓国併合に関する經濟史的研究——貿易・海運を素材として——」 森山茂徳・原田環編 『大韓帝国の保護と併合』 東京大学出版会 2013年 2月
- 「世界經濟史における植民地支配の意義——日本帝国の性格と特徴——」 日韓歴史家会議組織委員会 『植民地主義と脱植民地主義：世界史的視野から』 日韓文化交流協會 2016年 3月

- 'The Formation of Capitalism in East Asia'
M. Sawai ed., *Economic Activities under the Japanese Colonial Empire.* Springer Publishing 2016
- 「東アジアの高度成長の歴史的条件—国際分業の視点から—」堀和生編著『東アジア高度成長の歴史的起源』 京都大学学術出版会 2016年10月
- 「朝鮮・韓国の貿易」尾高煌之助編『アジア長期経済統計 2 韓国』 東洋経済新報社 2017年3月

翻 訳

- 安秉直「中村哲『近代東アジア史像の再検討』に対するコメント」『新しい歴史学のために』第190号 1988年3月
- 許粹烈「日帝下韓国人会社および韓国人重役の分析」中村哲・梶村秀樹・安秉直・李大根編『朝鮮近代の経済構造』 日本評論社 1990年5月
- 李炳天・李栄薫「書評 中村哲著『世界資本主義と移行の理論』」『新しい歴史学のために』第205号 1992年3月
- 許粹烈「日本帝国主義下朝鮮人工場の動態—1930年代『朝鮮工場名簿』分析を中心に—」中村哲・安秉直編『近代朝鮮工業化の研究』 日本評論社 1993年11月
- 監訳 朱益鍾著 金承美訳『大軍の斥候—韓国経済発展の起源—』 日本経済評論社 2011年3月

書 評

- 「小林英夫編『植民地への企業進出—朝鮮会社令の分析—』 歴史科学協議会『歴史評論』第575号 1998年3月
- 「潭史金宗玄教授停年紀念論文集刊行委員会編『工業化の諸類型—韓國の経験—』」『経済史學』第24号 1998年6月
- 「金洛年著『日本帝国主義下の朝鮮経済』 政治経済学・経済史学会『歴史と経済』第185号 2004年10月
- 「宣在源著『近代朝鮮の雇用システムと日本—制度の移植と生成—』」『アジア経済』第48巻第3号 2007年3月
- 「山崎志郎著『物資動員計画と共栄圏構想の形成』 政治経済学・経済史学会『歴史と経済』第221号 2013年10月
- 「谷ヶ城秀吉著『帝国日本の流通ネットワーク—流通機構の変容と市場の形成—』 経営史学会『経営史学』第48巻第6号 2014年3月
- 「原朗著『日本戦時経済研究』 歴史学研究会『歴史学研究』第922号 2014年9月

- 「原朗・宣在源編著『韓国経済発展への経路
—解放・戦争・復興—』」社会経済史学会
『社会経済史学』第80巻第3号 2014年
11月
- 「西川博史著『戦中戦後の中国とアメリカ・日
本』」政治経済学・経済史学会『歴史と経済』
第232号 2016年
7月
- 学界動向
- 「1986年回顧と展望 朝鮮近代」『史学雑誌』
第97編第5号 1987年
5月